PCレコーダシリーズ

PCレコーダ総合支援パッケージ

主な機能と特長
●Windowsパソコンにインストールして動作させる工業用記録計
●MSR128LS、MSR128LVは最速50ミリ秒周期でアナログ量8点の記録が可能
●MSR128はアナログ、デジタル、積算カウンタ入力合わせて128チャネルの記録が可能
●CSVファイルにより、他のWindowsアプリケーションソフトウェアにてデータの活用が可能
●トリガ機能を使うことにより、トリガ発生前およびトリガ発生後のデータ収録が可能
●入力信号監視にてアラーム表示、アラーム履歴、アラーム出力が可能
●MSRDB2はMSR128で収録したデータを時間集計、月間集計、年間集計をして自動印字、自動ファイル出力

アプリケーション例
●R1M−GH2(電圧入力、熱電対入力)と接続し、システム立上げ時の起動データを収録
●MSRDB2にて取込んだデータは日報・月報・年報の形で印刷

形式:MSRPAC−2010①

価格

基本価格 41,800円

ご注文時指定事項

・形式コード:MSRPAC−2010①
①は下記よりご選択下さい。
(例:MSRPAC−2010−DL)

①メディア種別

無記入:CD-ROM
−DL:ダウンロード版(弊社ホームページよりご購入可能です)

関連機器

・PCレコーダ(形式:R1M、R2M、RZMS、RZUSシリーズ)
・リモートI/O(形式:R3、R5、R6、R7シリーズ)
・チャートレス記録計(形式:73VR1100、73VR21□、73VR3100)*1
・電力マルチメータ(形式:53U、54U)*2
・積層形表示灯(形式:IT60RE、IT40SRE、IT50SRE、IT60SRE)*1

*1、MSR128LS、MSR128LV は対応しません。
*2、電力マルチメータ(形式:53U、54U)は、外部インタフェースがModbus仕様の機種をご使用下さい。

製品構成

・128 チャネルPC レコーダソフト
(MSR128−V6 日本語・英語版)、取扱説明書
(MSR128LS 日本語・英語版)、取扱説明書
(MSR128LV 日本語・英語版)、取扱説明書
・MSR128−V6 用帳票作成支援ソフト
(MSRDB2−V6 日本語)、取扱説明書

データ入力インタフェース仕様

Modbus-RTU インタフェース
・RS-485⇔RS-232-C変換器を介してRS-232-C(COM1〜COM5)に接続
・USBを介してRS-232-C(COM1〜COM5)に接続
(RZUSシリーズの場合)
・伝送速度　38.4kbps
Modbus/TCPインタフェース
・WindowsがサポートするLAN通信カード(100Mbps)

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

必要システム(お客様ご用意)

■ MSR128−V6 の動作環境

必要システム	通常時（収録周期 500 ms ～）	高速時（収録周期 100、200 ms）
パソコン	IBM PC ／ AT 互換機 注）パソコンの種類により、RS-232-C ポート（COM ポート）などの使用が一義的に決められているものがあります。ドライバソフトの変更や、システム設定の変更が必要になる場合があります。	
OS	Windows XP SP1 または SP2、Windows Vista Business 32 bit 版、Windows 7 Professional 32 bit 版、Windows 10 32 ／ 64 bit 版、Windows 11 64 bit 版 注）全ての環境での動作を保証するものではありません。 Ver.6.22.08 以降は Windows 10、Windows 11 のみ対応です。	
CPU	Pentium Ⅲ 800 MHz 以上 （Windows Vista、Windows 7 使用時は 1 GHz 以上）	Pentium Ⅳ 2.0 GHz 以上
ディスプレイの解像度	XGA（1024 × 768）以上	
表示色	65000 色（16 ビット High Color）	
ビデオメモリ	2 MB 以上（4 MB を推奨）	4 MB 以上
主メモリ（RAM）	Windows XP 使用時は 256 MB、 Windows Vista、Windows 7、Windows 10、 Windows 11 使用時は 1 GB を推奨	Windows XP 使用時は 512 MB、 Windows Vista、Windows 7、Windows 10、 Windows 11 使用時は 1 GB を推奨
ハードディスク	内蔵ディスクをご使用下さい。*1 1 日あたり最大で約 100 MB を消費します。	内蔵ディスクをご使用下さい。*1 1 日あたり最大で約 500 MB を消費します。
入力装置	R1M−GH2、R1MS−GH3、R1M−J3、R1M−D1、 R1M−A1、R1M−P4、R2M−2H3、R2M−2G3、 R5−NM1、R5−NE1、R3−NM1、R3−NE1、 R6−NM1、R6−NM2、R6−NE1、R6−NE2、 RZMS−U9、RZUS−U9、R7E、R7M、 73VR21□、73VR3100、73VR1100、53U、54U、 IT60RE、IT40SRE、IT50SRE、IT60SRE	R3−NE1、73VR3100
プリンタ	Windows の環境で使用できるプリンタをお使い下さい。Windows で使用されているシステム標準フォントを使用して印刷します。標準フォントを印刷できるプリンタドライバをお使い下さい。	
CD ドライブ*2	Windows がサポートする CD ドライブがインストール時に 1 台必要	
カードリーダー	CF カードのデータ読込み時に 1 台必要 （CF カードを使用する製品の場合のみ必要）	
通信インタフェース	Windows がサポートする RS-232-C ポート （COM1 ～ COM5 使用可能）、LAN 通信カード	LAN 通信カード

＊ 1、SCSI などの外部バスに接続されたディスクを使用した場合は、十分な性能を発揮できない場合があります。

＊ 2、ダウンロード版をご購入の場合は不要となります。

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

■ MSR128－V6 用帳票作成支援ソフトの動作環境

必要システム	MSRDB2－V6
パソコン	IBM PC ／ AT 互換機
OS	Windows XP SP1 または SP2（Internet Exploler 4.01 SP1 以上）、Windows Vista Business 32 bit 版、 Windows 7 Professional 32 bit 版 注）全ての環境での動作を保証するものではありません。
CPU	Pentium Ⅲ 800 MHz 以上（Windows Vista、Windows 7 使用時は 1GHz 以上）
ディスプレイの解像度	XGA（1024 × 768）以上 小さいフォントを使用
表示色	256 色以上
ビデオメモリ	2 MB 以上（4 MB を推奨）
物理メモリ	Windows XP の場合、480 MB 以上（推奨 512 MB 以上） Windows Vista、Windows 7 の場合、1 GB 以上（推奨 2 GB 以上） メモリの消費を防ぐため、データ収集中は他のアプリケーションを動作させないで下さい。
ハードディスク	プログラム部：100 MB デ ー タ 部：1.0 GB （Windows のシステムドライブ以外にインストールする場合は、システムドライブに 300 MB 以上の空き容量を確保しておいて下さい） 仮想メモリ部：物理メモリの 1.5 倍程度（物理メモリが 512 MB の場合、768 MB 程度） （ハードディスクはインストール前に、不要なファイルを削除し、デフラグツールを行って最適化しておいて下さい）
プリンタ	A4 用紙に対応し、印字方向を横向きに設定できるプリンタ（プリンタドライバ側で設定が可能なもの） ・必須ではありませんが、印字出力、プレビュー表示、HTM ファイル出力を行うためにはプリンタドライバのインストールが必要です。 ・印刷時の出力先プリンタは、“通常使うプリンタに設定”に設定されたプリンタです。 ・プリンタドライバによっては、用紙設定や印字方向の設定をできないものがあります。事前にドライバを確認しておいて下さい。 使用可能なプリンタドライバの確認方法 プリンタドライバをインストールし、プリンタのプロパティを開いた後、次の条件をすべて満たしているか確認しておいて下さい。 1、全般タブで印刷設定ボタンが表示されている。 2、1、の印刷設定ボタンを押し、用紙サイズを A4、印刷方法を横向きに設定できる。
CD ドライブ*1	Windows がサポートする CD ドライブがインストール時に 1 台必要
他に必要なソフト	Microsoft Excel 97（Microsoft Office 97）SR2 以上*2 Microsoft-IME 97 以上 MSR128 V 4.00 以上

＊1、ダウンロード版をご購入の場合は不要となります。
＊2、EXCEL は必須ではありませんが、CSV ファイルの編集や帳票フォーマットの作成など必要に応じてご用意下さい。
注 1）MSRDB2 起動中は、スクリーンセーバを含め、他のアプリケーションは動作させないで下さい。
注 2）MSR128LS、MSR128LV のデータには、対応していません。
注 3）旧バージョンとの互換性はありません。

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

■ MSR128LS、MSR128LV の動作環境

必要システム	MSR128LS	MSR128LV
パソコン	IBM PC ／ AT 互換機 注）パソコンの種類により、RS-232-C ポート（COM ポート）などの使用が一義的に決められているものがあります。ドライバソフトの変更や、システム設定の変更が必要になる場合があります。	
OS	Windows XP SP1 以上 ただし、グループ 0（収録周期 50 ms）は Windows XP SP1 または SP2 にてご使用下さい。 注）全ての環境での動作を保証するものではありません。	
CPU	Pentium Ⅱ 233 MHz 以上*1（Celeron の場合は、2 次キャッシュ付　300 MHz 以上）	
ディスプレイの解像度	SVGA（800 × 600 ドット）以上	VGA（640 × 480 ドット）以上
表示色	65000 色（16 ビット High Color）	
メモリ	Windows XP 使用時は 256 MB	
ハードディスク	200 MB 以上の空きがあること ただし、Windows XP を使用時はそれぞれの OS の標準に従う。	
入力装置	グループ 0（収録周期 50 ms）：R1M－GH2、R2M－2H3、R2M－2G3、R1MS－GH3 グループ 1 ～ 10（収録周期 500 ms）：R1M－GH2、R1MS－GH3、R1M－J3、R1M－D1、R1M－A1、R1M－P4、R2M－2H3、R2M－2G3、R5－NM1、R5－NE1、R3－NM1、R3－NE1、RZMS－U9、RZUS－U9	
CD ドライブ*2	Windows がサポートする CD ドライブがインストール時に 1 台必要	
通信インタフェース	Windows がサポートする RS-232-C ポート（COM1 ～ COM5 使用可能）、LAN 通信カード	

＊ 1、グループ 0（収録周期 50 ms）でご使用の場合は、Pentium Ⅲ 800 MHz 以上。
＊ 2、ダウンロード版をご購入の場合は不要となります。
注 1）SCSI などの外部バスに接続されたディスクを使用した場合は、十分な性能を発揮できない場合があります。
注 2）グループ 0（収録周期 50 ms）でご使用の場合は、パソコンの環境により測定データを取りこぼすことがあります。
　　取りこぼした場合は、前回の値を保持します。また、対応するノードは 1 台となります。

主な機能

■MSR128－V6（128チャネルPCレコーダ）
サンプリング速度
・高速時：100ms（R3－NE1、1ステーションのみ）
・通常時：500ms
接続する機器の台数により変化するため、500msで収集できない場合がありますのでご注意下さい。詳細はお問い合わせ下さい。
例）アラーム出力周期を入力更新時毎に設定、COMポート接続、トリガ設定なしの場合
R1M－GH2：500ms（6台まで）
RZMS－U9：500ms（3台まで）
R3－NE1：500ms（1ステーション64chまで）

収録方法
・連続収録：画面上からの操作でデータの連続収録動作を実行
・条件指定収録：128チャネルの入力信号のいずれかの警報を自動収録実行の条件として、収録を実行（例：アナログ入力の上限異常警報）
・時間指定収録：指定時刻間のデータの収録を実行指定時間に1回のみの収録と毎日収録のどちらかを選択
・トリガ連動：トリガがオンもしくはオフの間、データを収録
・外部トリガ収録：トリガ条件の成立前（最大3600サンプル）と成立後（最大3600サンプル）を合わせて、最大7200サンプルのデータを収録可能

データ収録周期：入力信号の取込みと、画面上のチャート周期（周期の種類は高速時は100ms、200ms、通常時は0.5秒、1秒、2秒、5秒、10秒、1分、10分、1時間の8通りあり、指定は128チャネル共通）
データの間引き収録：サンプリング周期とは別にデータを間引いて収録
（単純間引きと平均間引きがあり、指定は128チャネル共通）
収録データの分離／編集：ペン毎のデータ分離、収録周期の間引き

リアルタイムデータの表示
・ペン位置表示：各ペンの現在値の位置を表示
・全点監視表示：128チャンネルのデータすべてを1画面で表示（警報設定を行うことにより、警報を超えると設定した色で異常を表示）

収録済みデータの再表示
（MSR128LS、MSR128LVのデータは読込めません）

画面の拡大表示：ディスプレイ解像度により、画面を拡大表示（対応解像度 1024×768（XGA）、1280×768（800）（WXGA）、1280×1024（SXGA））

■MSR128LS、MSR128LV（128チャネルPCレコーダ）
サンプリング速度：50、500ms*1から選択
＊1、接続する機器の台数により変化するため、500msで収集できない場合がありますのでご注意下さい。詳細はお問合わせ下さい。
例）アラーム出力周期を入力更新時毎に設定、COMポート接続、トリガ設定なしの場合

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

R1M−GH2:500ms(6台まで)
RZMS−U9:500ms(3台まで)
R3−NE1:500ms(1ステーション64chまで)

収録方法
・連続収録:画面上からの操作でデータの連続収録動作を実行
・時間指定収録:指定時刻間のデータの収録を実行指定時間に1回のみの収録と毎日収録のどちらかを選択
・外部トリガ収録:トリガ条件の成立前(最大1200サンプル)と成立後(最大1200サンプル)を合わせて、最大2400サンプルのデータを収録可能
・トリガ連動:トリガがオンもしくはオフの間、データを収録

データ収録周期:入力信号の取込みと、画面上のチャート周期(高速、中速モードどちらかでのご使用が可能です)
・グループ0(高速モード):50ms
・グループ1〜10(中速モード):0.5秒、1秒、2秒、5秒、10秒、1分の6通りあり、指定は1グループ(12チャネル)毎に設定可能

演算機能:開平演算、移動平均(2〜16から選択)

リアルタイムデータの表示
・縦書きトレンドグラフ表示:収集したデータを縦書きにてトレンドグラフ表示
・横書きトレンドグラフ表示:収集したデータを横書きにてトレンドグラフ表示
最新のデータを画面の右側にするか左側にするかの選択が可能

過去データの比較表示:異なった2つの時間帯のデータを同時に表示し、データを比較表示
収録済みデータの再表示(MSR128のデータは読込めません)

■MSR128−V6用帳票作成支援ソフト(MSRDB2−V6)
データ作成
・日報データ作成:MSR128−V6、MSRDB2−V6ともにデータ収録を開始した時点からの日報を作成
・月報データ作成:MSR128−V6、MSRDB2−V6ともにデータ収録を開始した時点からの月報を作成
・年報データ作成:MSR128−V6、MSRDB2−V6ともにデータ収録を開始した時点からの年報を作成
(帳票の対象となるMSR128−V6の収録データは、MSR128−V6、MSRDB2−V6(サーバ)ともに収録開始状態になった時点からのデータです)

演算
・アナログ積算:データの持つ積算定数に従って、瞬時値から積算値を算出
・デジタル積算:接点のON(1)時間を積算
・パルス積算:パルス積算カウンタから1時間の差分を算出

データベース管理:MSR128−V6のバイナリデータを帳票データに編集し、データベース管理
データ表示:指定された日報・月報・年報を表示し、任意に印字、ファイル出力が可能
データ編集:MSR128−V6で収録済データから日報データを作成、作成された日報データ、月報データを画面にて変更可能

入出力ユニット

■MSR128−V6の入出力機器(接続できる機器一覧)

● R3 入出力カード対応一覧

信号種別	形　式
直流電圧入力	R3−SV4
	R3−SV4A
	R3−SV4B
	R3−SV4C
	R3(Y)−SV8
	R3−SV8A
	R3−SV8B
	R3−SV8C
	R3(S／Y)−SV8N
	R3(Y)−SV16N
直流電流入力	R3−SS4
	R3(Y)−SS8
	R3(S／Y)−SS8N
	R3(Y)−SS16N
熱電対入力	R3−TS4
	R3−TS8
測温抵抗体入力	R3−RS4
	R3(S)−RS4A
	R3(Y)−RS8
	R3−RS8A
	R3−RS8B
ユニバーサル入力	R3−US4
接点入力	R3(S／Y)−DA16
	R3(Y)−DA16A
	R3−DA16B
	R3−DA32A
	R3−DA64A
接点出力	R3(Y)−DC16
	R3−DC16A
	R3−DC16B
	R3−DC16C
	R3−DC32A
	R3−DC32C
	R3−DC64A
	R3−DC64C

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

信号種別	形　式
接点入出力	R3(S)－DAC16 *1
	R3(S)－DAC16A *1
ディストリビュータ入力	R3(Y)－DS4
	R3－DS4A
	R3(Y)－DS8N
ポテンショメータ入力	R3－MS4
	R3(Y)－MS8
CT 入力	R3－CT4
クランプ式センサ用 交流電流入力	R3－CT4A *2
	R3－CT4B *2
	R3－CT4C
	R3－CT8A *2
	R3－CT8B *2
	R3－CT8C
PT 入力	R3－PT4
零相変流器（ZCT）入力	R3－CZ4
電力入力	R3－WT4
	R3－WT4A
	R3－WT4B
	R3－WTU
高速パルス入力	R3－PA4
速度・位置入力	R3－PA2
積算パルス入力	R3－PA4A
	R3－PA4B
	R3(Y)－PA16
	R3(S)－PA8
ロードセル入力	R3－LC2
警報	R3－AD4
	R3－AR4
	R3－AS4
	R3－AS8
	R3－AT4
	R3－AV4
	R3－AV8
通信入出力	R3－GC1
	R3－GD1
	R3－GE1
	R3－GFL1
	R3－GM1

＊1、連続出力モードのみ対応

＊2、R3 用コンフィギュレータソフトウェア（形式：R3CON）により設定を変更する必要があります。
R3CON ご使用時には、専用ケーブルが必要となります。

● R3 通信カード対応一覧

通信カード	形　式
Modbus 通信カード	R3－NM1
Ethernet 通信カード	R3－NE1

● R5 入出力カード対応一覧

信号種別	形　式
直流電圧入力	R5(T)－SV
直流電流入力	R5(T)－SS
熱電対入力	R5(T)－TS
測温抵抗体入力	R5(T)－RS
接点入力	R5(T)－DA4
	R5－DA16
接点出力	R5(T)－DC4
	R5－DC16
ディストリビュータ入力	R5(T)－DS
ポテンショメータ入力	R5－MS
積算パルス入力	R5(T)－PA2
クランプ式センサ用 交流電流入力	R5T－CTA *1
	R5T－CTB *1
交流電圧入力	R5T－PT
CT 入力	R5T－CT

＊1、R5 用コンフィギュレータソフトウェア(形式: R5CON)により設定を変更する必要があります。
R5CON ご使用時は、専用ケーブルが必要になります。

● R5 通信カード対応一覧

通信カード	形　式
Modbus 通信カード	R5－NM1
Ethernet 通信カード	R5－NE1

● R6 入出力カード対応一覧

信号種別	形　式
直流電圧入力	R6□－SV2
直流電流入力	R6□－SS2
熱電対入力	R6□－TS2 *1
測温抵抗体入力	R6□－RS2
接点入力	R6□－DA4
トランジスタ出力	R6□－DC4A
	R6□－DC4B

＊1、R6 用コンフィギュレータソフトウェア（形式：R6CON）により設定を変更する場合があります。
詳細は R6□－TS2 の取扱説明書を参照して下さい。

● R6 通信カード対応一覧

通信カード	形　式
Modbus 通信カード	R6－NM1
	R6－NM2
Ethernet 通信カード	R6－NE1
	R6－NE2

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

● R7M 入出力ユニット対応一覧[*1]

信号種別	形　式
直流電圧／電流入力	R7M－SV4
熱電対入力	R7M－TS4
測温抵抗体入力	R7M－RS4
ポテンショメータ入力	R7M－MS4
交流電流入力	R7M－CT4E
接点入力	R7M－DA16
接点出力	R7M－DC16A
	R7M－DC16B
	R7M－DC8C
増設用接点入力	R7M－EA8
	R7M－EA16
増設用接点出力	R7M－EC8A
	R7M－EC8B
	R7M－EC16A
	R7M－EC16B

＊1、R7 用コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CON）により設定を変更する必要があります。
R7CON ご使用時には、専用ケーブルが必要となります。

● R7E 入出力ユニット対応一覧

信号種別	形　式
直流電圧／電流入力	R7E－SV4
熱電対入力	R7E－TS4
測温抵抗体入力	R7E－RS4
ポテンショメータ入力	R7E－MS4
交流電流入力	R7E－CT4E[*1]
接点入力	R7E－DA16
接点出力	R7E－DC16A
	R7E－DC16B
増設用接点入力	R7E－EA8
	R7E－EA16
増設用接点出力	R7E－EC8A
	R7E－EC8B
	R7E－EC16A
	R7E－EC16B

＊1、R7 用コンフィギュレータソフトウェア（形式：R7CON）により設定を変更する必要があります。
R7CON ご使用時には、専用ケーブルが必要となります。

●電力マルチメータ対応一覧

種別	形　式
電力マルチメータ	53U
	54U

● R1M、R2M、RZ□S シリーズ対応一覧

信号種別		入出力機器	
		R1M、RZ□S	R2M
アナログ入力	直流電圧入力	R1M－GH2	R2M－2G3
	熱電対入力	R1MS－GH3	R2M－2H3
	直流電流入力	RZMS－U9 RZUS－U9	×
	測温抵抗体入力	R1M－J3	×
	ポテンショメータ入力	RZMS－U9 RZUS－U9	×
接点入力		R1M－A1	×
接点出力		R1M－D1	×
パルス入力		R1M－P4	×
パルス積算入力		R1M－A1 R1M－P4	×

●チャートレス記録計対応一覧

種別	形　式
入出力機器分離形 チャートレス記録計	73VR1100
入出力一体形 チャートレス記録計	73VR21□（Ver.2 以降）
入出力選択形 チャートレス記録計	73VR3100

●積層形表示灯 IT シリーズ

信号種別	形　式
接点出力	IT60RE、IT40SRE、 IT50SRE、IT60SRE

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

■ MSR128LS、MSR128LV　V 2.01 以降の入出力機器（接続できる入力機器一覧）

● R3 入出力カード対応一覧

信号種別	形　式
直流電圧入力	R3−SV4
	R3−SV4A
	R3−SV8
	R3−SV8A
	R3−SV8N
	R3−SV16N
直流電流入力	R3−SS4
	R3−SS8
	R3−SS8N
	R3−SS16N
熱電対入力	R3−TS4
	R3−TS8
測温抵抗体入力	R3−RS4
	R3−RS8
接点入力	R3−DA16
	R3−DA16A
	R3−DA16B
	R3−DA32A
	R3−DA64A
接点出力	R3−DC16
	R3−DC16A
	R3−DC16B
	R3−DC32A
	R3−DC64A
ディストリビュータ入力	R3−DS4
	R3−DS8N
ポテンショメータ入力	R3−MS4
	R3−MS8
CT 入力	R3−CT4
クランプ式センサ用交流電流入力*1	R3−CT4A
	R3−CT4B
	R3−CT8A
	R3−CT8B
交流電圧入力	R3−PT4
高速パルス入力	R3−PA4
積算パルス入力	R3−PA16
高速パルス積算入力	R3−PA4A
電力入力	R3−WT4
	R3−WT4A
	R3−WT4B

＊1、R3 用コンフィギュレータソフトウェア（形式：R3CON）により設定を変更する必要があります。
R3CON ご使用時には、専用ケーブルが必要となります。

● R5 入出力カード対応一覧

信号種別	形　式
直流電圧入力	R5(T)−SV
直流電流入力	R5(T)−SS
熱電対入力	R5(T)−TS
測温抵抗体入力	R5(T)−RS
接点入力	R5(T)−DA4
	R5−DA16
接点出力	R5(T)−DC4
	R5−DC16
ディストリビュータ入力	R5(T)−DS
ポテンショメータ入力	R5−MS
クランプ式センサ用交流電流入力*1	R5T−CTA
	R5T−CTB
交流電圧入力	R5T−PT
CT 入力	R5T−CT

＊1、R5 用コンフィギュレータソフトウェア(形式: R5CON)により設定を変更する必要があります。
R5CON ご使用時は、専用ケーブルが必要になります。

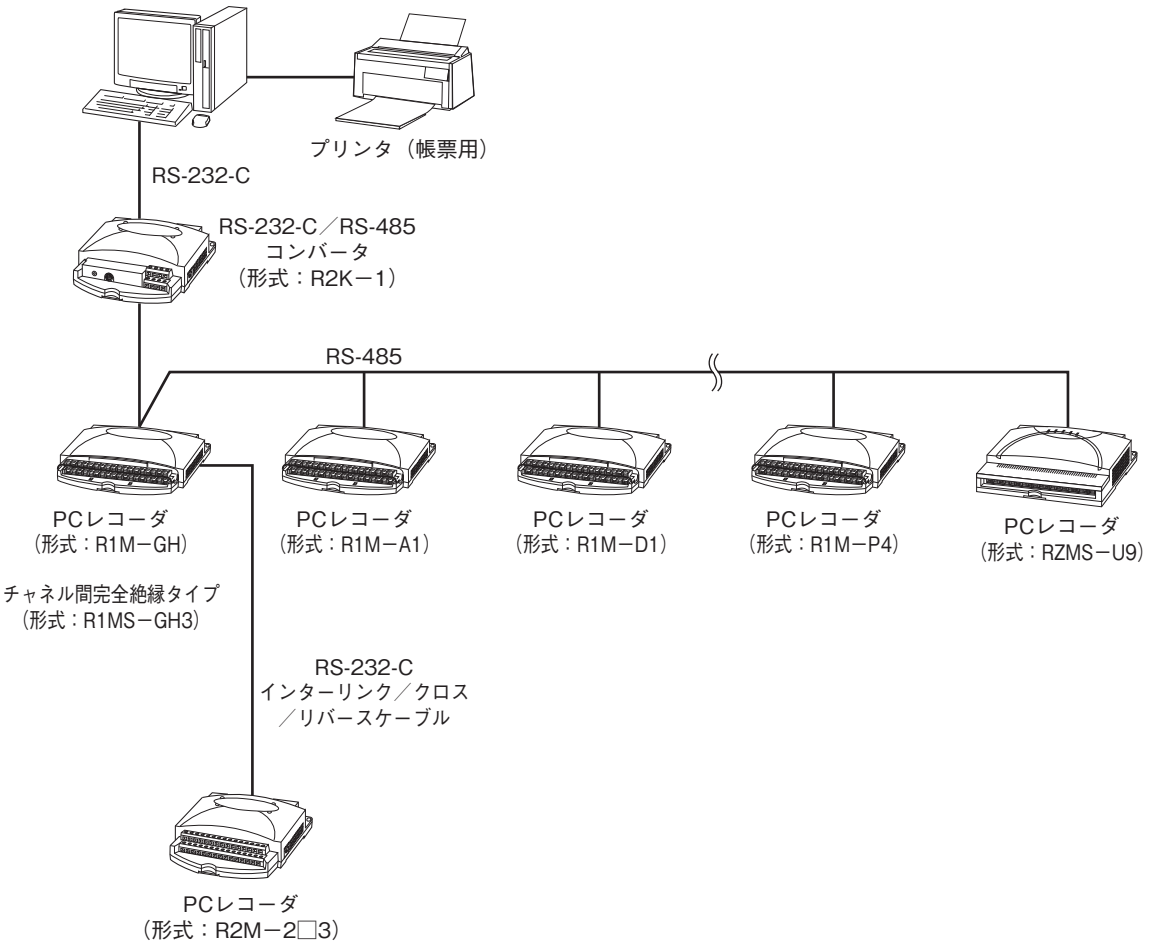
● R1M、R2M、RZ□S シリーズ入出力ユニット対応一覧

信号種別		入出力機器			
		グループ 0（収録周期 50 ms）		グループ 1 ～ 10（収録周期 500 ms ～）	
		R1M	R2M	R1M、RZ□S	R2M
アナログ入力	直流電圧入力	R1M−GH2 R1MS−GH3	R2M−2G3	R1M−GH2 R1MS−GH3 RZMS−U9 RZUS−U9	R2M−2G3
	熱電対入力		R2M−2H3		R2M−2H3
	直流電流入力		×		×
	測温抵抗体入力	×	×	R1M−J3 RZMS−U9 RZUS−U9	×
	ポテンショメータ入力	×	×		×
接点入力		×	×	R1M−A1	×
接点出力		×	×	R1M−D1	×
パルス入力		×	×	R1M−P4	×
パルス積算入力		×	×	R1M−P4、R1M−A1	×

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

システム構成例

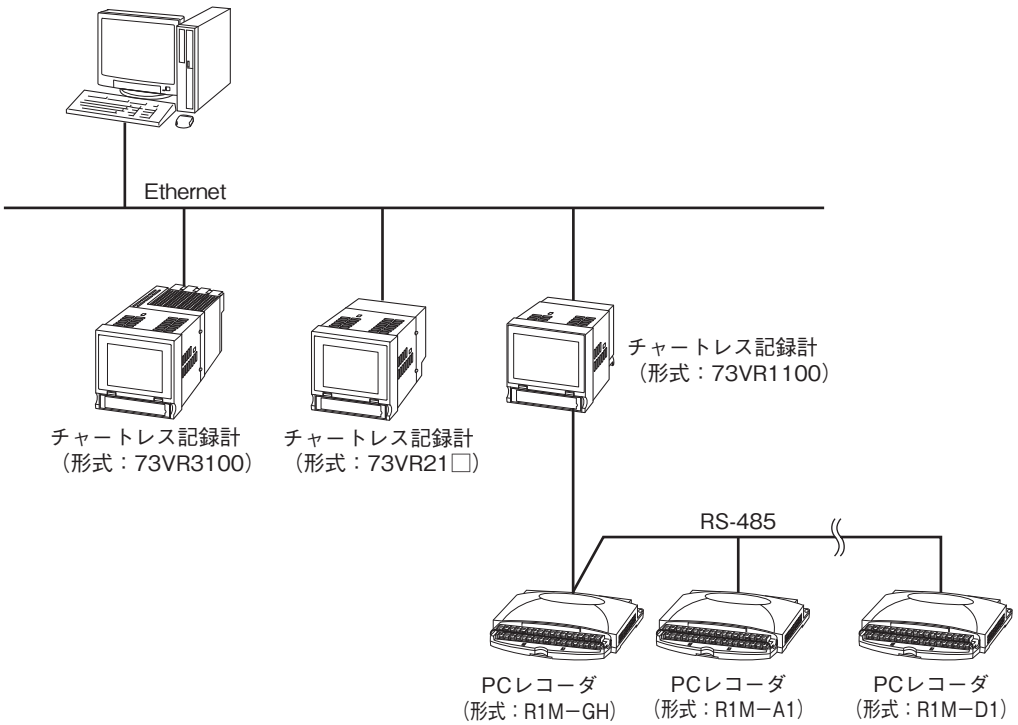
■MSR128−V6
●R1M、R2M、RZMSシリーズ



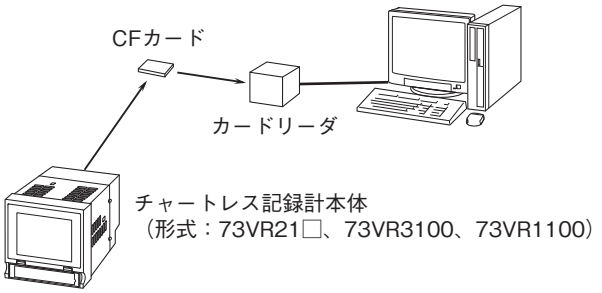
注1）RS-485の距離が長い場合はR2K−1でアイソレーションして下さい。
注2）接続する機器の台数により、サンプリング速度が変わりますのでご注意下さい。

MG CO., LTD.
www.mgco.jp

■MSR128−V6
●73VR

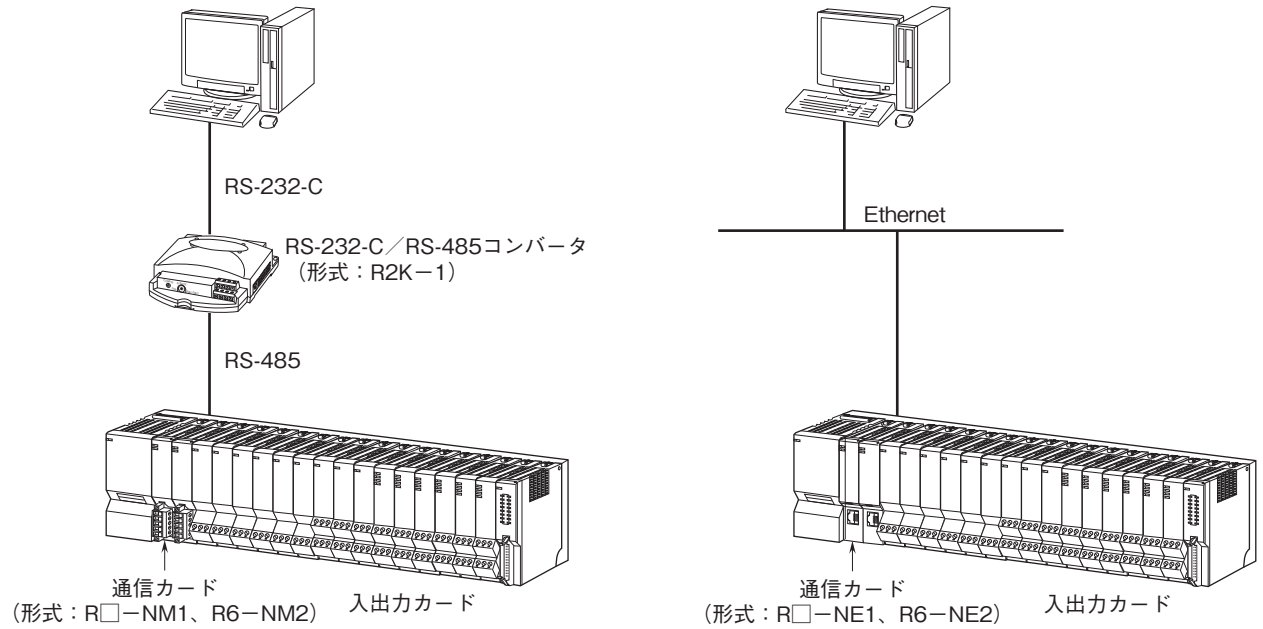


注）RS-485の距離が長い場合はR2K−1でアイソレーションして下さい。



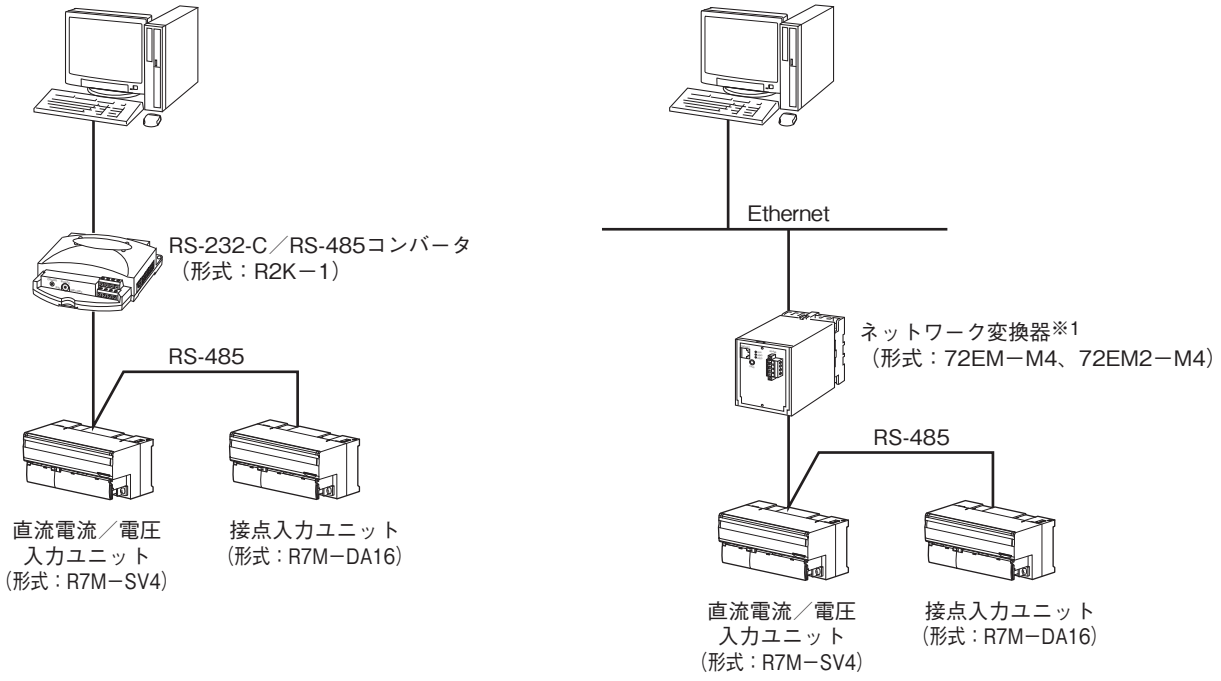
MG CO., LTD.
www.mgco.jp

●R3、R5、R6シリーズ



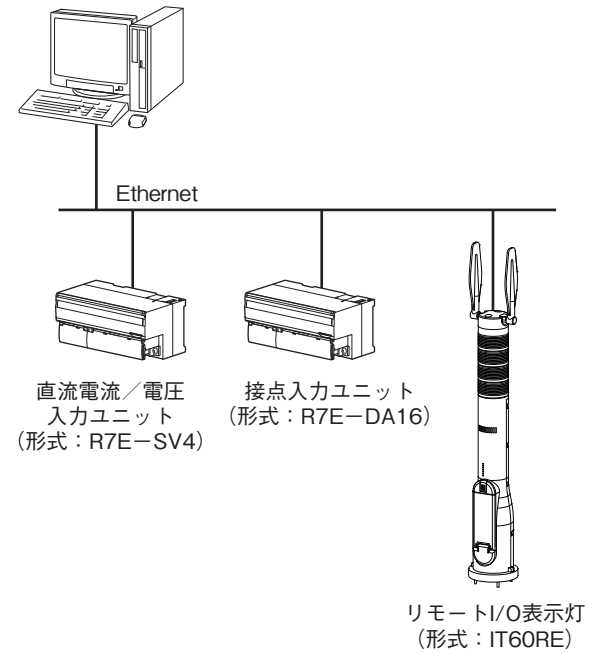
注）R3をご使用の場合、使用するチャネル数により、サンプリング速度が変わりますのでご注意下さい。

■MSR128−V6
●R7M

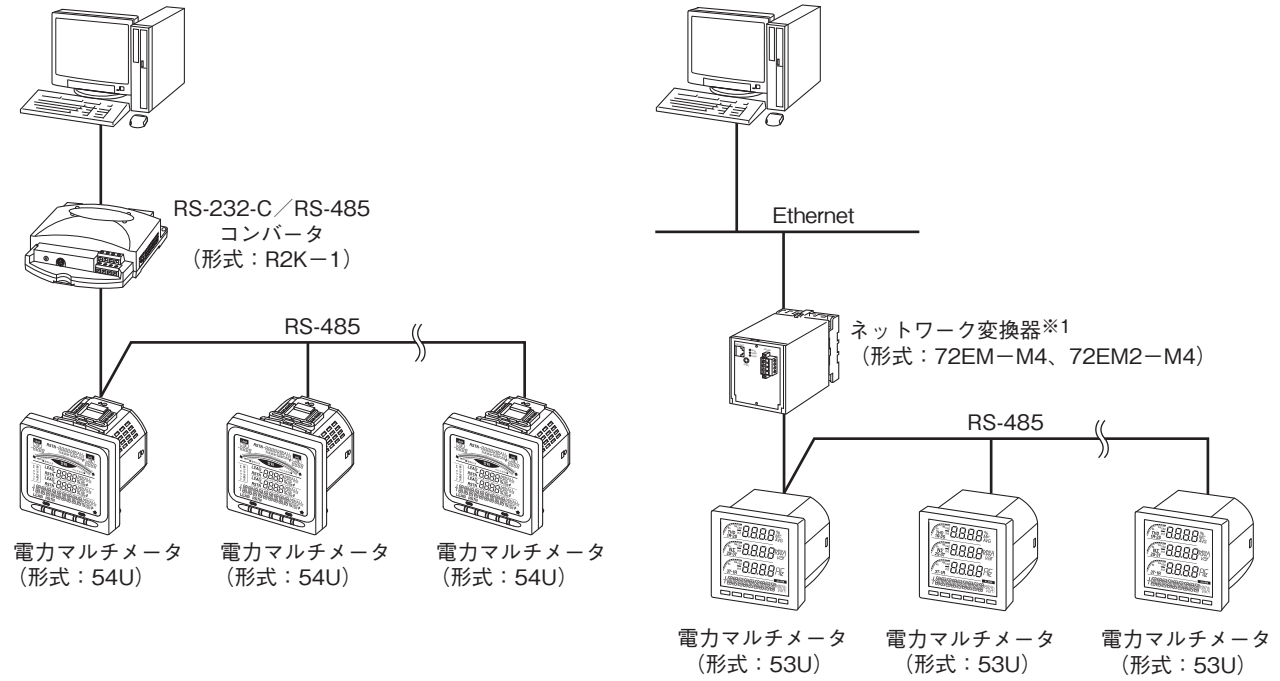


MG CO., LTD.
www.mgco.jp

●R7E、ITシリーズ



●53U、54U

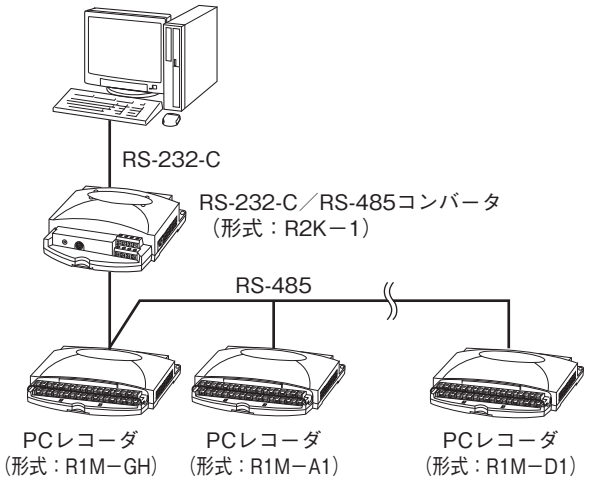


※1、72EM−M4の場合は、V1.01.03以降をご使用下さい。
注）接続する機器の台数により、サンプリング速度が変わりますのでご注意下さい。

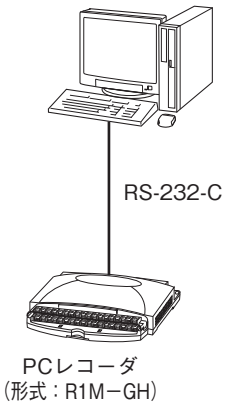
MG CO., LTD.
www.mgco.jp

■MSR128LS、MSR128LV

●収録周期 500ms以上　R1M、R2M、RZMSシリーズ

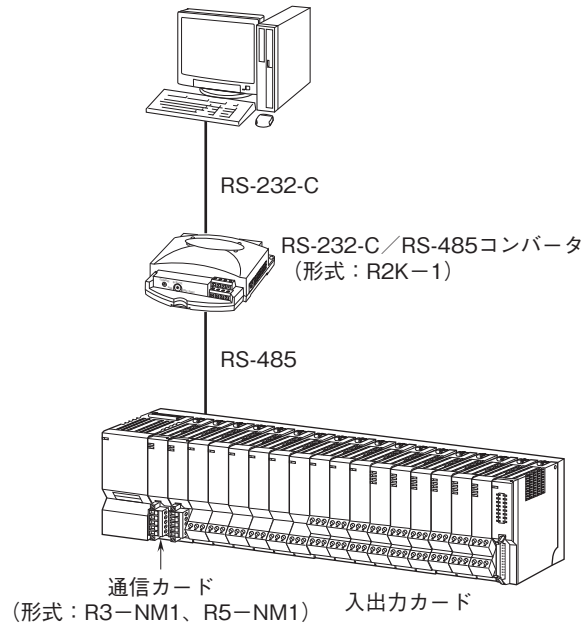


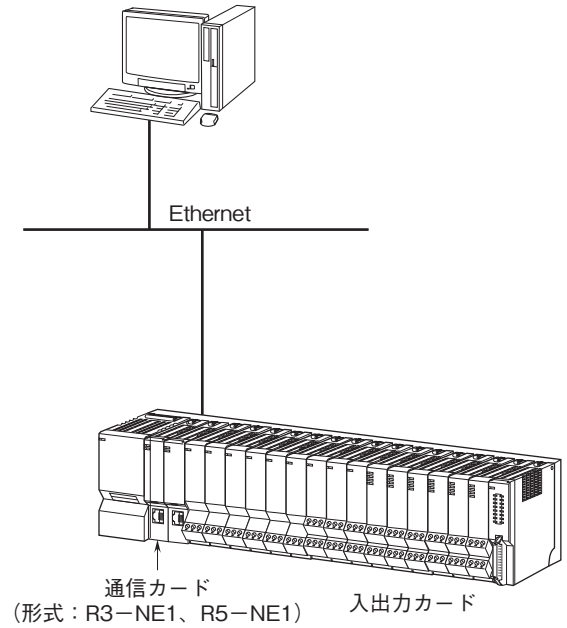
●収録周期 50ms以上



注1）RS-485の距離が長い場合はR2K−1でアイソレーションして下さい。
注2）接続する機器の台数により、サンプリング速度が変わりますのでご注意下さい。

●収録周期 500ms以上　R3、R5シリーズ





注）R3をご使用の場合、使用するチャネル数により、サンプリング速度が変わりますのでご注意下さい。

●記載内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
●ご注文・ご使用に際しては、弊社ホームページの「ご注文に際して」を必ずご確認ください。
●本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
　安全保障貿易管理については、弊社ホームページより「輸出（該非判定）」をご覧ください。
お問合わせ先　ホットライン：0120-18-6321

MG CO., LTD.
www.mgco.jp